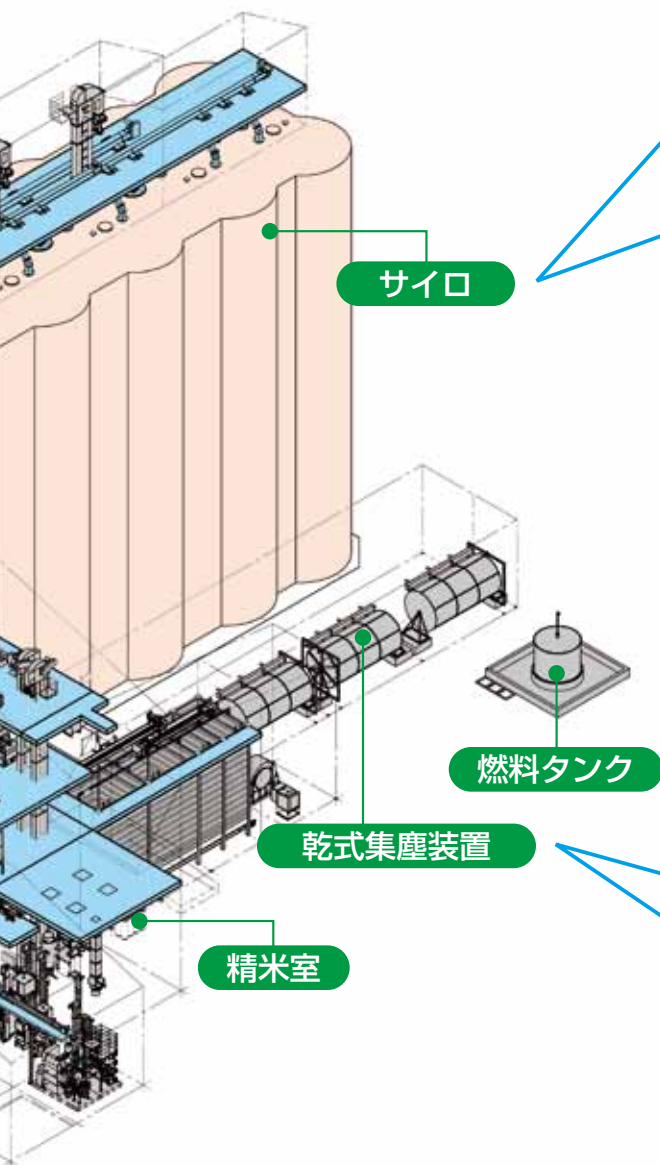


当JA初のカントリーエレベーター

カントリーエレベーターの建設によって、生産者の農作業負担の軽減と、米・大豆の流通体制の改善を目指す

平成23年3月に用地を取得し、平成23年8月24日から着工した、当JA初のカントリーエレベーターが、今年3月にいよいよ完成します。カントリーエレベーターの建設概要については、これまで座談会や総代会、広報誌を通じて、組合員の皆様に説明させて頂いております。このページでは、今年秋から稼働するカントリーエレベーターの中身について、紹介させて頂きます。



サイロと一体型の乾燥設備

▶大型循環式乾燥機

- ・外気条件などを考慮して、コンピューターが最適温度を自動設定
- ・もみの呼吸量を徹底的に抑えた乾燥処理を実現
- ・機械による自動制御で安心・安全な運転



◀大型送風機

- ・適度な予備乾燥によって、乾燥作業を軽減するほか、水分ムラ（乾燥ムラ）の発生を未然に防止
- ・最新の熱風乾燥用送風機で、低騒音で高効率な送風が可能

乾式集塵装置



◀乾式集塵装置

- ・県内初の多段式フィルターによる集塵処理装置。従来の湿式集塵装置（集塵効率：90～93%）よりも、優れた集塵処理（集塵効率：96～98%）を実現し、粉塵を限りなく軽減